

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

( 00089 )

事務事業名称	中小企業支援	款	03	項	05	目	01	事業	001	整理番号	093
現担当課名	産業振興センター	係名	就労・経営支援係					連絡先電話番号	5347-9077	昨年度整理番号	095
上位施策No・施策名	08 にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興							予算事業区分	既定事業		
事業開始	昭和25年度	実行計画事業	目標	02	施策	08	計画事業	01	主要事業（区政経営報告書掲載事業）		
令和 5年度担当課名	産業振興センター							事業評価区分	一般		

## 令和 5年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	区内の中小企業者及びこれらで組織する団体、区内で創業を目指す者	根拠法令等	( 1 ) 杉並区中小企業資金融資あっせん条例 ( 2 ) 杉並区中小企業資金融資あっせん条例施行規則
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	中小企業の経営の安定 創業しやすい環境の整備	活動指標	融資あっせん件数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	区内の中小企業者及び団体の事業用資金の融資あっせんを行う。 融資を実行した金融機関に対して利子補給を行う 。区内の中小企業者及び団体、創業を目指す者に対して経営等に関する相談・助言（商工相談）を行う 。区内で創業を目指す者に対し、創業スタートアップ助成や創業セミナーを実施する。	指標名（ 1 ）	商工相談件数
		指標名（ 2 ）	
		成果指標	金融機関貸付件数
		指標名（ 1 ）	【社会】
		指標名（ 2 ）	利子補給金額
		指標説明	【社会】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 件	894	1,000	852	1,000	710	1,000	71.0	38.4	
活動指標 ( 2 )	2 件	2,600	2,500	1,746	2,500	1,990	2,500	79.6		
成果指標 ( 1 )	3 件	673	1,000	565	1,000	543	1,000	54.3		
成果指標 ( 2 )	4 千円	128,322	150,251	165,965	205,999	183,367	274,849	89.0		
事業費	5 千円	382,954	420,011	326,466	2,159,317	829,505	392,167	特記事項		
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	33,122	37,544	35,268	37,431	38,674	46,041	補正予算を計上し中小企業光熱費高騰緊急対策助成を実施したことで事業費が増加しましたが、申請件数が想定より少なかったため執行残が生じました。 また、同助成金の申請期限を令和5年12月31日から令和6年2月29日まで延長したことにより、業務委託期間を令和6年5月31日まで延長したため、令和6年度へ委託料を13,928千円繰り越しました。	
	上記以外の職員	7 千円	18,375	11,025	12,873	12,873	13,325	9,518		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	434,451	468,580	374,607	2,209,621	881,504	447,726			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	149,449	0	136,441	0	495,178	0		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	149,449	0	136,441	0	495,178	0		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	285,002	468,580	238,166	2,209,621	386,326	447,726		

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 5年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 093

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	中小企業光熱費高騰緊急対策助成	5,772	件	310,083
	中小企業資金融資利子補給			183,367
	中小企業資金融資信用保証料補助	358	件	61,811
	創業スタートアップ助成	56	件	16,228
	その他 ( 勤労者支援ほか )			258,016
取組成果	<p>エネルギー価格の高騰により負担が増加している区内中小事業者に対し、経営安定化と負担軽減を図るため光熱費 ( 電気・ガス料金 ) の助成を実施しました。また、原油価格・物価高騰等対策特例資金の申込期間を当初の令和5年3月31日から令和6年3月31日まで延長するとともに、同資金融資に伴う信用保証料の全額補助を継続実施し、原油価格・物価高騰等の影響により売上が減少している区内中小事業者の支援を図りました。そのほか、創業スタートアップ助成や創業支援資金融資に伴う信用保証料補助などを実施し、引き続き、区内での創業を支援しました。</p>			

## 令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>エネルギー価格の高騰により影響を受けている区内中小事業者を支援するため、令和5年10月1日から令和6年2月29日まで中小企業光熱費高騰緊急対策助成を実施しました。周知については、広報やホームページに掲載するほか個々の事業者へ案内を送付しました。しかし、助成件数は想定の3割強、執行率は2割程度に留まったことから、課題分析・効果検証を行い、今後の支援策につなげていく必要があります。また、令和5年度末で終了した原油価格・物価高騰等対策特例資金のあっせん件数は、令和4年度に比べ減少したものの、区内中小事業者へ資金調達の充実と負担軽減を図る支援を行うことができました。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>融資あっせん件数は社会経済状況により左右されますが、引き続き状況を注視し、必要な時に迅速に事業者へ支援策を提供できるようにしておく必要があります。</p> <p>令和5年度当初から、創業スタートアップ助成の利用を希望する事業者が増えており、早期に募集を締め切るほどの状況となっていることから、助成制度の見直しを図る必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 ( 年度末までの見込含む )	<p>令和6年度に創設した借換特例資金融資の申込件数は、7月末現在で74件となり、当初想定より少ない状況ですが、事業者の経済的負担を軽減することができました。引き続き、社会経済状況を注視し、当該融資をはじめとする今後の中小企業支援について検討する必要があります。</p> <p>創業スタートアップ助成は、令和6年度の1回目の募集は、申込期限前に32件の申込があり募集を早期に締切りました。助成を受けた事業者からは、創業時の不安定な売上の中で大変助かったなどの声が上がっている一方で、締切られるのが早く助成が受けられなかったといった声もありました。2回目の募集を実施するに当たり、より多くの創業者に助成ができるよう制度の見直しを行いました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>借換特例資金融資の申込期間は令和6年度末までとしていますが、今後の社会経済状況を踏まえ、申込期間の延長や他の支援策 ( 融資・助成金等 ) について検討します。</p> <p>また、創業スタートアップ助成を受けた事業者については、アンケートを実施するとともに区の様々な支援策を周知し、創業後の安定した運営ができるよう支援していきます。</p>

## 令和 7年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>社会経済情勢は、政策金利の追加利上げとそれに伴う市場金利の上昇、エネルギー価格の高騰や物流コストの増加、地政学的リスクなどにより先行き不透明な状況となっているため、国や都の動向を注視しつつ、産業団体等からの意見を踏まえ、令和7年度以降も区内中小事業者への有効な支援策を検討し、必要な予算措置を講じていきます。</p>	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

( 00090 )

事務事業名称	商店街支援			款	03	項	05	目	01	事業	002	整理番号	094
現担当課名	産業振興センター		係名	商業係			連絡先電話番号	5347-9138		昨年度整理番号	096		
上位施策No・施策名	08 にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和63年度	実行計画事業	目標	02	施策	08	計画事業	03	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和 5年度担当課名	産業振興センター						事業評価区分	一般					

## 令和 5年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	商店会等	根拠法令等	( 1 )	杉並区商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金交付要綱
			( 2 )	杉並区政策課題対応型商店街事業費補助金交付要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	イベント助成等により商店街のにぎわいづくりを促進するとともに、装飾灯LED化や防犯カメラ設置の助成により、安全・安心に買い物ができる環境を整備する。商店街を含めた地域一帯のにぎわい創出に向けて行う取組を支援することにより、地域の活性化を推進する。	活動指標	指標名 ( 1 )	商店街チャレンジ戦略支援事業費補助（イベント事業）件数
			指標説明	
			指標名 ( 2 )	装飾灯LED化及び防犯カメラ設置補助商店街数
			指標説明	
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	商店街が実施するイベント事業経費を助成する。 商店街の施設整備に要する経費を助成する。 装飾灯のLED化・維持経費等を助成する。 防犯カメラの設置・維持経費等を助成する。 商店街マップ作成・情報化推進の事業の経費を助成する。 商店街へ助言等を行うアドバイザーを派遣する。 商店街が実施する未来を創る商店街支援事業経費を助成する。 LED装飾灯ランプ交換に対する経費を助成する。	成果指標	指標名 ( 1 )	商店街のイベントに参加したことの区民の割合
			指標説明	区民意向調査による【区民】
			指標名 ( 2 )	商店会加盟店舗数
			指標説明	年度末の杉並区商店会連合会加盟店会の店舗数【社会】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 件	42	110	56	110	75	100	68.2	85.8	
活動指標 ( 2 )	2 商店街	10	12	6	7	7	8	100.0		
成果指標 ( 1 )	3 %	40.4	43.0	33.7	44.0	35.0	45.0	79.5		
成果指標 ( 2 )	4 店	5,558	5,700	5,511	5,800	5,324	5,800	91.8		
事業費	5 千円	215,575	386,357	261,270	414,066	355,100	434,346	特記事項		
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	48,807	46,676	52,160	58,226	60,522	35,577	令和4年度に実施予定であった浜田山町番街のカラー舗装事業56,608千円を繰り越して実施したほか、イベント実施件数が令和4年度に比べて19件増えたこと等により、事業費が前年度比35.9%増になりました。一方で、イベント実施件数は増加傾向にあるものの、計画の68.2%にとどまったことや、未来を創る商店街支援事業が商店街の実施体制が整わず実施を見送ったこと等により、執行率は85.8%となりました。	
	上記以外の職員	7 千円	5,660	7,350	4,303	3,678	3,807	7,614		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	270,042	440,383	317,733	475,970	419,429	477,537			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	73,604	147,668	91,338	173,238	144,604	179,544		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	73,604	147,668	91,338	173,238	144,604	179,544		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	196,438	292,715	226,395	302,732	274,825	297,993		

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 5年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 094

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	商店街チャレンジ戦略支援事業費補助 ( イベント事業 )	75	件	119,010
	商店街チャレンジ戦略支援事業費補助 ( 活性化事業 )	18	件	127,150
	商店街防犯設備の整備等に対する補助	61	台	12,791
	L E D 装飾灯のランプ交換に対する補助	111	件	3,257
	その他 ( 商店街装飾灯建設助成等 )			92,892
取組成果	<p>商店街のにぎわいにつながるイベント事業75件を支援したほか、老朽化したアーケードやカラー舗装整備等をはじめとする商店街施設の整備、ホームページやマップの作成など商店街の販売促進等の活性化事業18件を支援しました。その他、安心・安全な商店街環境の整備を図るため、7商店街に計61台の防犯カメラの設置補助を行うとともに、従来補助対象外であった耐用年数を経過したL E D装飾灯のランプ交換に要する経費について、新たに東京都の補助制度を活用し111件の全額補助を行いました。</p>			

## 令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>商店街のイベント実施件数は、振興組合が行う大規模イベント ( 組織活力向上支援事業 : 10件 ) 及び若手・女性グループが行う小規模イベント ( 若手・女性支援事業 : 4件 ) を令和5年度から新たに補助対象としたところ、前年度に比べて19件増加しました。一方で、コロナ禍や物価高騰に加え、商店街の役員の高齢化や後継者不足により活力が低下している商店街も増えてきており、これらの商店街のにぎわいを取り戻すためには、各商店街が抱える課題を丁寧に聞き取り、課題解決に向けた助言を行っていく必要があります。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>従来補助対象外であった耐用年数を経過した111件のLED装飾灯のランプ交換に要する経費について、令和5年度から新たに東京都の補助制度を活用し、全額補助を行いました。なお、当補助制度は、ソーラーパネルを設置する等、再生可能エネルギー活用することを条件とするとともに、従来よりも消費電力や発光効率が向上するランプのみが補助対象となっていることから、安心・安全で環境にやさしい商店街づくりを推進することができました。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 ( 年度末までの見込含む )	<p>令和6年度の商店街チャレンジ戦略支援事業費補助 ( イベント事業 ) の申請件数は、令和元年度の実績件数と同程度となっています。これは、コロナ禍が収束しつつあることに伴い商店街活動が昨年度以上に活発化したことや、若手・女性支援事業の件数が伸びたことによるもので、前年度実績より24件多い199件となる見込みです。また、耐用年数を経過したLED装飾灯ランプの交換予定件数は前年度実績に比べて88件多い199件となる見込みで、安心・安全で環境にやさしい商店街づくりが進んでいます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>コロナ禍や物価高騰の影響に加え、商店街活動の担い手不足等のため活動力が低下している商店街に対して、アドバイザー派遣により、イベントの新設や商店街マップの作成等を支援し、商店街のにぎわい創出につなげる「商店街トライアル事業」を創設しました。</p> <p>また、インバウンド需要が回復基調にあり、令和7年度には世界陸上などの国際イベントも控える中、来街者がより一層増加することが予想されます。これを好機と捉え、商店街が観光需要に対応した取組を行う場合に支援を行う「地域の観光需要対応支援事業」を創設し、商店街の更なる活性化を図っていきます。</p>

## 令和 7年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>令和6年度に開始した「商店街トライアル事業」について、対象となる商店街が効果的に活用できるよう、商店街に丁寧なヒアリングを行い、補助対象となる事業を拡大する等、制度のより一層の充実を図っていきます。</p> <p>また、令和5年度に開始した「未来を創る商店街支援事業」及び令和6年度に開始した「地域の観光需要対応支援事業」が制度の最終年度となることから、対象商店街に対しては制度の目的に即した効果的な取組となるよう適切な支援を行っていきます。</p> <p>さらに、女性の商店街活動への参画を促進するため、商店街等の女性グループが実施する事業の補助率を拡充し、さらなる女性活躍の推進を目指していきます。</p>	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

( 00091 )

事務事業名称	アニメの振興と活用			款	03	項	05	目	01	事業	003	整理番号	095
現担当課名	産業振興センター		係名	観光係			連絡先電話番号	5347-9184		昨年度整理番号	097		
上位施策No・施策名	08 にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成12年度	実行計画事業	目標	02	施策	08	計画事業	05					
令和 5年度担当課名	産業振興センター							事業評価区分	一般				

## 令和 5年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	区民、区外来館者、商店街関係者、アニメ産業関係者	根拠法令等	( 1 ) 杉並区立杉並会館条例 ( 2 ) 杉並区公式アニメキャラクター使用取扱要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	杉並アニメーションミュージアムを軸に、区内アニメ制作会社のコンテンツや区公式アニメキャラクター「なみすけ」等を活用し、広域的に来街者を誘致し、商店街等の活性化やにぎわいの創出を図る。	活動指標	杉並アニメーションミュージアムの年間開館日数 「なみすけ」等の着ぐるみ延使用日数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	杉並アニメーションミュージアムを運営する。 アニメを活かした商店街等の振興を図る。 区公式アニメキャラクター「なみすけ」のPR、使用料の無償化による商用利用を促進する。	成果指標	杉並アニメーションミュージアムの年間来館者数 【社会】 「なみすけ」使用承認件数 【社会】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 日	306	164	161	307	297	300	96.7	97.4
活動指標 ( 2 )	2 日	16	80	51	80	54	80	67.5	
成果指標 ( 1 )	3 人	35,731	28,000	39,124	45,000	57,291	50,000	127.3	
成果指標 ( 2 )	4 件	71	80	68	80	88	80	110.0	
事業費	5 千円	84,390	86,449	84,047	102,678	100,036	107,009	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	25,196	20,023	23,706	19,963	23,523	20,090	杉並アニメーションミュージアムの年間開館日数は、会館の改修に伴い110日間減少しています。令和4年度は杉並会館の改修に伴い杉並アニメーションミュージアムが5か月間休館していたため、通常運営となった令和5年度は事業費が増額しました。
	上記以外の職員	7 千円	3,675	3,675	3,678	3,678	4,759	3,807	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	113,261	110,147	111,431	126,319	128,318	130,906		
財源	受益者負担分	9 千円	1,500	1,500	1,851	1,500	1,966	1,950	
	国・都からの補助金	10 千円	3,578	0	3,322	0	3,279	0	
	その他の補助金等	11 千円	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	10,078	6,500	10,173	6,500	10,245	6,950	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	103,183	103,647	101,258	119,819	118,073	123,956	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 5年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 095

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	杉並アニメーションミュージアム運営業務委託			65,580
	杉並アニメーションミュージアム建物維持管理委託			14,338
	他区連携事業			4,919
	なみすけの普及			2,235
	その他 (杉並アニメーションミュージアム著作権更新、光熱水費の支出ほか)			12,964
取組成果	<p>杉並アニメーションミュージアムでは、シアタースクリーンを150から200インチへ変更する等、施設内の機能充実を進めました。また、区内アニメ制作会社と連携したミニ企画展示や上映会、人気アニメコンテンツを活用した企画展の実施や開館日数の増等により、来館者数は前年度比18,167人増の57,291人となりました。また、広域的な取組として中野・杉並・豊島アニメ等地域ブランディング事業実行委員会による、「すぎなみフェスタ」と連携したイベントを開催し、2日間で過去最高となる4,841人の参加者があり「アニメのまち杉並」の魅力を発信できました。</p>			

## 令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>アニメは、世界に誇る日本の文化として国内外で高い評価を得ており、当区においても機を捉えた取組を進めていく必要があります。杉並アニメーションミュージアムは、開設以来、展示の充実や積極的な情報発信により、杉並の観光拠点として来館者数を増やしています。令和5年度は、人気アニメコンテンツを活用した企画展の実施等により、杉並アニメーションミュージアムの来館者数は、57,291人と新型コロナウイルス感染症の流行前と同水準となりました。また、区内アニメ制作会社と連携した取組として、ミニ企画展示コーナーのPR展示やアニメ監督等によるトークイベント等を開催し、区内アニメ人気制作会社の魅力を広く伝えることができました。今後も杉並アニメーションミュージアムへの来館者数を増やす取組を積極的に行っていきます。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>中野・杉並・豊島アニメ等地域ブランディング事業実行委員会の取組として、人気アニメ『SPY×FAMILY』を活用し「すぎなみフェスタ」と連携したスタンプラリー等のイベントを実施したことにより、2日間で4,841人と過去最高の参加がありました。三区一体となった広域的な情報発信を行うとともに、三区を周遊できるような共通イベントやアニメ東京ステーション等と連携したイベント開催により、アニメを活用した区内外からの誘客を図っていきます。</p> <p>また、「なみすけ」の使用承認件数は、イベント数の増加等により前年度比で約1.3倍の88件となり目標値を上回ることができました。なみすけグッズフェアやイベント出演などを通して、さらなるキャラクター認知度の向上、デザインの利用促進を図ります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和6年度4～7月期における杉並アニメーションミュージアムの来館者数は令和5年度同時期に比べて25%程度減少しています。一方、同期間の来館者数のうち訪日外国人が20%を超え (前年度実績約10%)、インバウンド需要の回復が顕著で、累計来館者数も90万人を超えました。中野・杉並・豊島アニメ等地域ブランディング事業実行委員会では、練馬区のアニメ関連イベントへの出展を行ったほか、令和5年度に開設されたアニメ東京ステーションとの連携等による広域的な情報発信を実施する予定です。今後は、アニメ制作会社が日本一多い地域特性を生かし、区内アニメ制作会社の魅力をPRするイベントの開催、展示や上映会、ワークショップ等の実施を通して、杉並アニメーションミュージアムのさらなる来館者数の増加を図ります。</p>
事業の方向性・改善策	<p>杉並アニメーションミュージアムは、令和7年3月に開館20周年を迎えるため、この節目を契機として常設展示の更新や体験型展示の充実を図るとともに、インバウンド需要への対応も行っていきます。また、効果的な情報発信ができるよう受託事業者と連携して、YouTubeバンパー広告などの新たな手法を用いる等、ウェブやSNSでの発信を強化し、認知度をより高められるような取組を進めていきます。さらに、区内アニメ制作会社との連携を強化し、「アニメのまち」の魅力を高めながら、中野・杉並・豊島アニメ等地域ブランディング事業実行委員会を通じて、広域的な連携による情報発信及びイベント開催による来街誘致を図ります。</p>

## 令和 7年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>杉並アニメーションミュージアムの認知度を高め、来館者数を増やすために、開館20周年を記念したイベントなどを開催します。また、引き続き、区内アニメ制作会社と連携した展示などを行っていくほか、人気アニメコンテンツを活用した企画や体験型展示の充実、多言語が話せるスタッフの配置などにより施設の魅力を高めていきます。さらに、YouTubeバンパー広告等の新たな手法を用いる等、ウェブやSNSでの発信を強化するほか、施設の多言語化への対策を引き続き進め、急増する訪日外国人の来館にも対処していきます。</p> <p>中野・杉並・豊島アニメ等地域ブランディング事業実行委員会では、引き続き、他自治体との連携による広域的な情報発信やイベント開催を実施し、三区のブランディングや回遊性を高める取り組みを検討、実施していきます。</p>	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

( 00644 )

事務事業名称	観光促進	款	03	項	05	目	01	事業	004	整理番号	096	
現担当課名	産業振興センター	係名	観光係			連絡先電話番号	5347-9184		昨年度整理番号	098		
上位施策No・施策名	08 にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興						予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成26年度	実行計画事業	目標	02	施策	08	計画事業	04 主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和 5年度担当課名	産業振興センター						事業評価区分	一般				

## 令和 5年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区民、区外来街者（海外含む）、商店・事業者	根拠法令等	( 1 ) 中央線あるあるプロジェクト実行委員会規約 ( 2 ) 東京高円寺阿波おどり振興事業補助金交付要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	杉並区の「良さ」「らしさ」を再発見し、地域の様々な資源を観光コンテンツとして区の内外に広く発信することで、区外からの来街者増を図り、持続的な「まちのにぎわい」や「商機」を創出する。	活動指標	中央線あるあるプロジェクトWEB情報発信数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	中央線あるあるプロジェクトを推進する。 東京高円寺阿波おどりを支援する。 すぎなみ学倶楽部を運営する。 魅力発信事業を実施する。 フィルムコミッションを運営する。 図柄入り杉並ナンバープレートの周知・普及を図る。	指標名 ( 1 )	日本語・外国語・日本語Facebook、外国語Facebook、インスタグラムでの情報発信数
		指標名 ( 2 )	すぎなみ学倶楽部掲載頁数
		指標説明	ページ、コラム、なみすけインスタグラムへの掲載数
		成果指標	共催イベント集客数
		指標名 ( 1 )	東京高円寺阿波おどり及び高円寺フェスの来場者数【社会】
		指標名 ( 2 )	すぎなみ学倶楽部アクセス数
		指標説明	ページビュー数【社会】

## 指標、総事業費 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 回	333	309	347	316	343	240	108.5	99.8
活動指標 ( 2 )	2 頁	247	252	252	212	212	212	100.0	
成果指標 ( 1 )	3 人	70,000	213,000	202,829	1,220,000	1,179,709	1,220,000	96.7	
成果指標 ( 2 )	4 件	937,082	800,000	988,506	990,000	909,296	1,000,000	91.8	
事業費	5 千円	56,211	59,122	58,877	58,539	58,432	59,510	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	45,052	38,378	45,832	38,263	35,242	38,507	すぎなみ学倶楽部アクセス数は、システムの仕様変更により令和5年7月から統計方法が変わったことが影響し、令和5年度のページビュー数は実績が計画よりも低くなりました。
	上記以外の職員	7 千円	3,675	3,675	3,678	3,678	3,807	3,807	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	104,938	101,175	108,387	100,480	97,481	101,824		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	255	1,163	732	1,163	743	632	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	255	1,163	732	1,163	743	632	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	104,683	100,012	107,655	99,317	96,738	101,192	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 5年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 096

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	「にぎわい・商機」創出プログラム (中央線あるあるプロジェクト)			39,000
	観光事業補助 (東京高円寺阿波おどり)			4,000
	すぎなみ学倶楽部の運営			8,219
	魅力発信事業			5,000
	その他 (観光 P R (図柄入り杉並ナンバープレートの周知・普及ほか) )			2,213
取組成果	<p>中央線あるあるプロジェクトでは、ウェブやSNSによる情報発信のほか、外国語マップの制作、武蔵野市と連携し学生と協働したパンフレット制作等を行いました。また、すぎなみ学倶楽部では、区民ライターが杉並名誉区民の山本東次郎氏の記事等を制作し、全体で909,296件のアクセスがありました。東京高円寺阿波おどりは、4年ぶりに屋外で開催され、約96万人の来場者数となりました。魅力発信事業では、西武新宿線及び京王井の頭線沿線の商店街等へのヒアリング調査を基にパンフレットを制作、配布したほか、雑誌やウェブの発信を通して地域の魅力を発信しました。</p>			

## 令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、訪日外国人旅行者数は増加傾向にあり、日本政府観光局によると、訪日外国人旅行者数は、令和5年は年間約2,506万人 (前年比約6.5倍) に増加しました。さらに、令和6年3月には過去最高の月間約300万人を記録しており、インバウンド需要の回復に合わせ、観光客の区内への誘致を積極的に行っていく必要があります。</p> <p>令和5年度は、本格的に再開されたイベントの情報発信や、武蔵野市や区内大学の学生等と連携したパンフレット制作の取組過程を積極的に発信する等、計画外の情報発信にも積極的に取り組み、「中央線あるあるプロジェクト W E B 情報発信数」が目標値を上回ることができました。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>「共催イベント集客数」については、高円寺フェスでは、約22万人の来場者がありました。東京高円寺阿波おどりは、本大会前日のふれおどりを含め約96万人の来場者でしたが、4年ぶりの屋外開催ということもあり目標値には達しませんでした。</p> <p>なお、すぎなみ学倶楽部では、杉並名誉区民の山本東次郎氏などの貴重な記事を制作しましたが、統計システムの仕様変更の影響もあり、アクセス数は前年度比79,210件減の909,296件となりました。引き続き「杉並ならでは」の魅力ある観光コンテンツを充実させ、インバウンド需要回復の好機を捉え、区内全域の周遊につながるイベントやウェブを活用した積極的な情報発信に取り組みながら、来街者を増やし、まちのにぎわい・商機を創出していきます。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>「中央線あるあるプロジェクト」では、令和6年6月にプロポーザル方式により、日本人向け、外国人向けの情報発信を行う事業者をそれぞれ選定したほか、武蔵野市やJR東日本等との連携事業を検討し、ウェブや SNS を活用して適時適切に区内イベント情報を発信しました。「すぎなみ学倶楽部」では、カメラ撮影研修等を通して区民ライターのスキルアップを行ったほか、令和6年12月に開園予定の荻外荘関連の特集ページの作成等に取り組んでおり、令和6年7月末時点のページビュー数は令和5年度と同程度となっています。「魅力発信事業」では、令和6年6月にプロポーザルにより選定した事業者による、西武新宿線及び京王井の頭線沿線を含めた区内全域の魅力発信を目的としたスタンプラリーの開催に向けた準備を行っています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>令和6年度は、令和5年度に比べ外国人を含めた来街者が増加傾向にあることを好機と捉え、杉並区の魅力を区内外に届け、直接的な来街を促すような観光情報の発信と、魅力発信事業の更なる充実を図っていく必要があります。人が集まるイベントの実施や、ウェブ上での時勢を捉えた魅力あるコンテンツを更新していくため「中央線あるあるプロジェクト」の実行委員や「すぎなみ学倶楽部」の区民ライター等との十分な意見交換を踏まえ、「杉並ならでは」の魅力を発信していきます。また、西武新宿線及び京王井の頭線沿線等の「魅力発信事業」については、JR中央線沿線の魅力と合わせて相乗効果を図り、区内全域の回遊性を高めることができるシェアサイクルを活用する等、観光客誘致によるまちのにぎわい創出につながる取組を進めます。</p>

## 令和 7年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>令和6年度の実績の総括や分析を踏まえ、引き続き、民間団体や区民等と協働して「中央線あるあるプロジェクト」や「すぎなみ学倶楽部」等を通じた区の魅力の効果的な情報発信を行っていきます。また、「魅力発信事業」で取り上げる西武新宿線や京王井の頭線沿線の魅力を、JR 中央線沿線の魅力と合わせて相乗効果を図り、区内全域のにぎわい創出や集客促進につなげます。引き続きプロポーザル等を実施し、事業者の創意工夫を生かした魅力の向上や区内回遊性を高める取組を進めていきます。</p>	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

( 00092 )

事務事業名称	産業商工会館維持管理			款	03	項	05	目	01	事業	006	整理番号	098
現担当課名	産業振興センター		係名	管理係		連絡先電話番号	4112		昨年度整理番号	100			
上位施策No・施策名	08 にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和40年度												
令和 5年度担当課名	産業振興センター							事業評価区分	施設維持管理				

## 令和 5年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	区内産業団体、区民等	根拠法令等	( 1 ) 地方自治法第244条 ( 2 ) 杉並区立産業商工会館条例
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	杉並区の産業振興を目的とし、区内産業団体等に商品展示場・会議室を提供する。	活動指標	指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	産業商工会館を適切に維持管理する。	指標説明	成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度 対計画比 (%)	令和 5年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画		
活動指標 ( 1 )	1								96.8
活動指標 ( 2 )	2								
成果指標 ( 1 )	3								
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	50,510	50,017	49,274	52,512	50,851	56,553	特記事項	
人件費	常勤職員分 ( 再任用含 )	6 千円	4,172	3,337	4,076	3,158	6,600	6,660	
	上記以外の職員	7 千円	735	735	736	0	0	0	
総事業費 ( 5+6+7 )	8 千円	55,417	54,089	54,086	55,670	57,451	63,213		
財源	受益者負担分	9 千円	3,664	4,431	4,949	4,455	4,836	4,912	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 ( 9+10+11 )	12 千円	3,664	4,431	4,949	4,455	4,836	4,912	
	差引：一般財源 ( 8-12 )	13 千円	51,753	49,658	49,137	51,215	52,615	58,301	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 5年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 098

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	産業商工会館運営業務委託	1	所	33,093
	産業商工会館建物維持管理委託	1	所	14,711
	光熱水費の支出	1	所	2,183
	施設設備修繕			628
	その他 ( 消耗品購入ほか )			236
取組成果	<p>令和5年度の施設利用実績は4,065回となり令和4年度の4,010回と比べ微増しました。産業登録団体への登録内容の確認調査を実施したことにより施設の再認識を促すことができたこと等から、団体の利用状況は令和4年度の753回と比べ127回増えて880回となりました。また、施設内の全熱交換器に不具合が発生したため、施設利用者に不便が生じないように、運営業務受託者や営繕課とも連携し年度内に機器の交換を行いました。</p>			

## 令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 ( 年度末までの見込含む )	<p>今年度当初に、運営管理を受託している事業者において職員の入替がありました。研修の実施等により窓口業務に支障が生じることなく業務を遂行し、令和6年6月に実施した利用者アンケートによる満足度が、令和5年11月の82.2%に比べ0.8ポイント上昇し83.0%となりました。</p> <p>また、施設の老朽化により、地下2階の汚水ポンプセンサー等に不具合が生じていましたが、令和6年6月に修理が完了しました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>利用者アンケートや区民意見等では、施設へのWi-Fi導入に関する要望が多く寄せられています。オンラインによるセミナーや会議が一般的になっている現状を踏まえ、区内産業団体の利用促進を図るため、Wi-Fi導入に向けた検討を進めていきます。</p> <p>また、施設が老朽化しているため給排水設備やドア等の劣化が生じていますが、日常点検を丁寧に行うことで不具合を早期に発見し、利用者に不便が生じないように適切に対処します。</p>

## 令和 7年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	施設へのWi-Fi導入に向けて、必要な経費を精査し計上します。	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

( 00095 )

事務事業名称	農業の支援・育成			款	03	項	05	目	02	事業	002	整理番号	101
現担当課名	産業振興センター		係名	都市農業係			連絡先電話番号	5347-9136		昨年度整理番号	103		
上位施策No・施策名	08 にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和26年度	実行計画事業	目標	02	施策	08	計画事業	06	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和 5年度担当課名	産業振興センター							事業評価区分	一般				

## 令和 5年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	一般区民、農業者、農業者団体	根拠法令等	( 1 ) 杉並区営農活動支援補助金交付要綱 ( 2 ) 杉並区農業体験農園に対する援助等に関する要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	地産地消事業の推進・拡充 営農支援・保全策の充実 都市農業についての区民理解の向上	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	農家戸数 農地台帳上の区内農家戸数 区主催即売会実施日数 草花植木野菜等展示即売会 (春・秋)
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	地産地消推進連絡会の運営を行う。 営農活動支援費の助成を行う。 農業体験農園の開園・運営に関する助成を行う。 防災兼用農業用井戸の設置に伴う助成を行う。 草花植木野菜等展示即売会を開催 (春・秋) する。	成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	農地面積 農地台帳上の区内農地面積【社会】 区主催即売会売上金額 草花植木野菜等展示即売会 (春・秋) 売上金額【区民】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 戸	125	125	121	121	119	119	98.3	65.9
活動指標 ( 2 )	2 日	2	3	3	3	3	3	100.0	
成果指標 ( 1 )	3 ha	37.7	37.7	37.4	37.4	36.2	36.2	96.8	
成果指標 ( 2 )	4 千円	814	1,800	1,955	1,800	2,363	1,800	131.3	
事業費	5 千円	16,018	26,910	15,151	30,912	20,386	30,171	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	12,515	12,515	15,638	12,477	19,756	16,742	新たにハウス栽培における温室効果ガス削減事業を行ったため事業費増となりました。防災兼用農業用井戸及び農業体験農園の新規開園の実績がなかったため執行残が生じました。
	上記以外の職員	7 千円	5,513	5,513	5,517	5,517	5,863	5,711	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	34,046	44,938	36,306	48,906	46,005	52,624		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	2,853	0	7,523	4,245	2,853	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	2,853	0	7,523	4,245	2,853	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	34,046	42,085	36,306	41,383	41,760	49,771	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 5年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 101

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	営農活動支援費の補助	29	件	8,310
	農業体験農園の開園・運営に関する助成	2	件	730
	企業的農業経営者集団補助	5	件	1,300
	その他 ( 農業情報誌「杉並農人」発行ほか )			10,046
取組成果	<p>営農活動の支援として、農業体験農園の運営助成を2件、企業的農業経営者集団活動支援助成を5件行ったほか、農業者からの意見等を踏まえ、営農活動支援補助制度を拡充し29件の助成を行いました。また、農業ボランティアの登録対象を拡大したことで登録者が29名増加し、48名となりました。さらに、地産地消を推進するため、区主催の即売会の開催や学校給食「地元野菜デー」を7月は希望校、12月には区立学校全において実施するとともに、農業情報誌「杉並農人」「農産物直販マップ」に加え、新たに東京都エコ農産物の認証取得農業者を紹介するリーフレットを発行しました。</p>			

## 令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>営農活動支援補助制度の拡充など、都市農業の維持・継続のため施策推進に努めるものの農家戸数及び農地面積は、高齢化や後継者不足問題などにより年々減少を続けており、令和6年3月31日時点の農地面積は36.2ha、農家戸数は119戸 ( 前年度比1.2ha減、2戸減 ) となっています。引き続き、農地の保全や農業人材の確保を図るため、農業者の意向やニーズを的確に把握し、都市農地貸借等の農地制度の活用を勧奨や、農業ボランティアの養成に努め、農業者とのマッチングを活性化していく必要があります。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>J A や関係団体との連携を強化し、即売会の開催や情報誌の発行などを通じ、都市農地の必要性についての区民理解の促進を図るとともに、「地元野菜デー」の全校実施や学校給食での杉並産農産物利用拡大に向けて課題を整理し、地産地消を一層推進していく必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 ( 年度末までの見込含む )	<p>営農活動支援補助金について、農家の営農状況を踏まえた見直しを行ったこともあり、交付決定額は予算上限の1,000万円、24件の農家への経営支援を行いました。また、農業ボランティアの養成・登録を進め、ボランティア延べ16名を農業者にマッチングし、農業者の人的支援を行いました。「地元野菜デー」については、昨年度に引き続き令和6年7月に区立学校全校にて実施し、12月の実施に向けて課題の精査、解消に努めています。また、教育委員会や関係団体と連携強化し、地産地消推進連絡会を開催するなど、学校給食に杉並産農産物をより活用していく仕組みを検討することで、地産地消を推進しています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>営農活動支援補助金の補助対象を広げることにより、農業経営の安定化を図るとともに、高齢化や後継者不足に悩む農業者とボランティアのマッチングを推進して、都市農業の保全、農業者の人材の確保に努めていきます。また、教育委員会や関係団体との連携を強化し、引き続き「地元野菜デー」の区立学校全校での実施や学校給食への杉並産農産物の利用拡大に向けた検討を進めるなど、更なる地産地消を推進していきます。</p>

## 令和 7年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>都市農地を保全していくためには、農業の担い手の確保が喫緊の課題であるため、農業ボランティアバンクの登録者を拡充し、農業者と農業ボランティアのマッチングを着実に進めていきます。また、環境への負荷の低減が図られる地産地消を推進するため、即売会の拡充や教育委員会及び農業関係団体と連携した「地元野菜デー」の区立学校全校における継続実施に向けて取り組むとともに、杉並産農産物の更なる利用拡大に向けた検討を進め、更なる地産地消を推進していきます。</p>	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

( 00096 )

事務事業名称	都市農地確保				款	03	項	05	目	02	事業	003	整理番号	102	
現担当課名	産業振興センター		係名	都市農業係		連絡先電話番号	5347-9136		昨年度整理番号	104					
上位施策No・施策名	08 にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興								予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和49年度	実行計画事業	目標	02	施策	08	計画事業	06	主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
令和 5年度担当課名	産業振興センター								事業評価区分	一般					

## 令和 5年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区民農園：利用抽選に当選した世帯・団体（利用承認された教育又は福祉を目的とする団体） 農福連携農園：利用抽選に当選した団体（利用承認された教育又は福祉を目的とする団体）	根拠法令等 ( 1 ) 特定農地貸付に関する農地法等の特例に関する法律 ( 2 ) 杉並区特定農地貸付規程
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	農園の区画提供による都市農業への理解喚起 農地面積の維持による緑地の保全 農地の多面的機能の発揮と理解促進	活動指標 指標名（ 1 ） 貸出区画数 指標説明 区民農園貸出区画数（世帯用） 指標名（ 2 ） 農園利用団体数 指標説明 貸出区画利用障害者施設等団体数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	区民農園：農業者等から提供された農地を区が管理し、区民農園として区民に野菜づくりや園芸を楽しむ機会を提供する。 農福連携農園：農地を活用し、農業と福祉の連携事業として農産物、農作業を通じて障害者等のいきがいつくり・健康増進などを図る。	成果指標 指標名（ 1 ） 区民農園の面積 指標説明 区が維持管理している区民農園面積の合計【行政】 指標名（ 2 ） 団体利用農園活動実績 指標説明 団体利用農園活動回数【区民】

## 指標、総事業費 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 区画	629	629	629	832	802	802	96.4	97.5	
活動指標 ( 2 )	2 団体	6	11	11	11	11	11	100.0		
成果指標 ( 1 )	3 h a	1.1	1.1	1.1	1.5	1.5	1.5	100.0		
成果指標 ( 2 )	4 回	148	250	337	340	294	340	86.5		
事業費	5 千円	65,810	41,256	39,973	84,701	82,596	55,242	特記事項		
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	12,515	12,515	15,638	12,477	19,756	12,557	井草区民農園開設整備にともない事業費増となっています。	
	上記以外の職員	7 千円	5,513	5,513	5,517	5,517	5,863	5,711		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	83,838	59,284	61,128	102,695	108,215	73,510			
財源	受益者負担分	9 千円	4,456	4,430	4,408	5,318	6,202	5,664		
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	17,512	0		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	4,456	4,430	4,408	5,318	23,714	5,664		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	79,382	54,854	56,720	97,377	84,501	67,846		

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 5年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 102

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	区民農園維持管理委託	8	所	16,185
	農福連携農園管理委託	1	所	26,235
	井草区民農園開設整備	1	所	36,190
	その他 ( 事務経費ほか )			3,986
取組成果	<p>新たに井草区民農園を開設 ( 173区画 ) し、区民農園7園833区画 ( 世帯貸802区画、団体貸31区画 ) の貸付を実施するとともに、上井草二丁目団体利用農園では、小学校の農業体験の場を拡充し、区内の保育園、小学校等延べ57団体1,955名の収穫体験を実施しました。また、農福連携農園では、障害者施設等に加え、子ども食堂への食材提供も充実させ、26団体へ延べ249回の食材提供を行うとともに、区画貸出している施設に対し野菜の苗を提供し、来園できない施設利用者にも農にふれあう機会を創出しました。</p>			

## 令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>令和5年10月に新たに井草区民農園を開園し、都市農地の保全を図り、区民が農に親しむことができる場を拡充しているものの、収穫体験等のイベントの応募者数は増加しており、農にふれあう機会の需要は高まっています。引き続き、上井草二丁目団体利用農園や農福連携農園などにおいて、新たな農業体験の場を確保する必要があります。</p> <p>また、農福連携農園については、障害者施設等11団体への区画貸出や区民ボランティアの活用、イベントなどを通じた障害者・高齢者等のいきがい創出の機会の提供など、今後も区民・地域との連携事業を通じて、都市農業・農地保全の大切さについて区民の理解促進を図る必要があります。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 ( 年度末までの見込含む )	<p>昨年度井草区民農園を開園し、農に親しむ場の拡充を図ったことに加え、今年度は農園パトロールを強化し、不耕作等の利用者と区民農園利用待機者との入替に努め、農に親しむ機会の拡充を図りました。また、上井草二丁目団体利用農園では、収穫体験を実施し農業体験の場の確保に努めました。</p> <p>農福連携農園では、障害者施設や子ども食堂に食材提供し、運営を支援するとともに、障害者施設等の11団体に対して農園の区画を貸し出すほか、野菜苗等を提供し、施設内においても農園でのノウハウを活用し育成してもらうことで、来園が困難な施設利用者に対して農にふれあう機会を創出しました。その他、さざんかステップアップ教室と連携し、農作業体験を通して児童・生徒の新たな学びの場を提供しました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>都市農地貸借等の活用を引き続き農家に周知するなど、より多くの区民が農にふれあう場を拡充していきます。</p> <p>農福連携農園については、引き続き、教育委員会と連携し不登校支援事業の場として活用するとともに、高齢者施設と連携し、レイズドベッドやプランターを活用した園芸活動により高齢者のいきがい創出を図るなど、多面的な機能を発揮する農福連携事業を拡充していきます。また、すぎのこマルシェやすぎのこ農園まつりなどの取組みにおいて、近隣のすぎのき生活園や農芸高校、子ども食堂等と連携し、区民・地域との連携強化を図ります。</p>

## 令和 7年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>都市農地貸借等の農地制度を活用するなど、農にふれあう場としての農業体験の機会を充実できるように努めていきます。</p> <p>農福連携農園では、団体農園区画利用者への新たなやりがい創出を目的とした区画利用団体による加工食品の製造、販売に向けて、他自治体への視察等を行うことで検討を進めていきます。</p>	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

( 00097 )

事務事業名称	勤労福祉会館維持管理			款	03	項	05	目	03	事業	001	整理番号	103
現担当課名	産業振興センター		係名	管理係		連絡先電話番号	5347-9134		昨年度整理番号	105			
上位施策No・施策名	08 にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和59年度												
令和 5年度担当課名	産業振興センター							事業評価区分	施設維持管理				

## 令和 5年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象 勤労者、区民等	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	杉並区立勤労福祉会館条例 杉並区立勤労福祉会館条例施行規則
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか ) 中小企業に働く勤労者、区民等の文化・教養及び福祉の向上を図る。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 ) 勤労福祉会館を適切に維持管理する。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度 対計画比 (%)	令和 5年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画		
活動指標 ( 1 )	1								99.6
活動指標 ( 2 )	2								
成果指標 ( 1 )	3								
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	56,131	59,521	57,342	55,536	55,336	58,638	特記事項	
人件費	常勤職員分 ( 再任用含 )	6 千円	4,172	3,337	4,076	2,660	3,587	3,586	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 ( 5+6+7 )	8 千円	60,303	62,858	61,418	58,196	58,923	62,224		
財源	受益者負担分	9 千円	20	20	71	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 ( 9+10+11 )	12 千円	20	20	71	0	0	0	
	差引：一般財源 ( 8-12 )	13 千円	60,283	62,838	61,347	58,196	58,923	62,224	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 5年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 103

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	勤労福祉会館指定管理料			55,336
	その他 ( )			
取組成果	<p>コロナ禍で減少していた施設利用も徐々に回復し、利用実績は令和4年度の13,055回から約4%増加して令和5年度は13,591回となりました。指定管理者による勤労者向け事業として、9月は「西荻料理教室」、2月には「ご近所クラシック」を実施し、両事業合計で約170名の参加があり、参加者からは「とても楽しかった、また企画して欲しい」との声を多くいただくことができました。また、地域の行事等に積極的に参加するなど、指定管理者による施設利用促進に向けた取組を行いました。</p>			

## 令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>指定管理者の自主事業として、ホールの利用促進を目的とした「ピアノの試奏会」の実施や地域の障害者団体等による販売のための共有部スペースの貸出等、新たな事業に取り組んでいます。また、勤労者の文化、教養及び福祉の向上を目的とした「勤労者を対象とした事業」についても、指定管理者の創意工夫を生かした事業を企画していきます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>指定管理者制度を通じて、民間のノウハウを生かした効率的な運営とサービスの向上を図っていきます。また、令和2年度に導入した指定管理者制度の契約期間が令和8年3月末で満了することに伴い、令和7年度上半期にはプロポーザルを実施する必要があるため、これまでの実績を踏まえ協定書内容の改訂等を進めていきます。</p> <p>また、令和4年度の財政援助団体等監査による注意事項を踏まえ、区と指定管理者の間で月1回行う連絡調整会議の場で月次報告書の内容確認をする等、適切に対応しています。</p>

## 令和 7年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>勤労者、区民等の文化・教養及び福祉の向上を図る施設として、関係各課及び指定管理者と連携し、適切な維持管理を行っていきます。</p>	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

( 00099 )

事務事業名称	就労支援			款	03	項	05	目	04	事業	001	整理番号	104
現担当課名	産業振興センター		係名	就労・経営支援係			連絡先電話番号	5347-9077		昨年度整理番号	106		
上位施策No・施策名	08 にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興								予算事業区分	既定事業			
事業開始	平成24年度	実行計画事業	目標	02	施策	08	計画事業	02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和 5年度担当課名	産業振興センター								事業評価区分	一般			

## 令和 5年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	若者を中心とした求職者及び区内事業者	根拠法令等	( 1 ) 杉並区就労支援センター運営要綱 ( 2 ) 杉並区と東京労働局及び新宿公共職業安定所が雇用、産業施策等を一体的に実施するための協定
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	求職者の個々の状況に応じて就労準備相談等の支援を実施し、より多くの求職者が就職に結び付くようにする。 区内事業所の雇用支援を実施し、区内事業所と求職者とのマッチングを図る。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	就労準備相談・心としごとの相談件数  職業相談件数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	求職者に対して就労準備相談、就労支援セミナー、職業相談、職業紹介、定着相談支援を実施する。相談の利用だけでは就職に至らない若者等に対して社会適応力訓練、就労準備訓練を実施する。ハローワークと連携し、就職面接会を実施する。区内事業所の特徴や魅力を含む求人情報を求職者に情報提供する。インターネット・応募書類作成パソコンコーナー、就職情報コーナーを運営する。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	就労準備相談者の就職決定件数  【社会】 ハローワークでの就職決定件数  【社会】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 件	1,588	2,150	1,294	2,150	1,714	2,150	79.7	95.8
活動指標 ( 2 )	2 件	8,856	5,000	6,014	5,000	6,203	5,000	124.1	
成果指標 ( 1 )	3 件	167	160	180	160	176	160	110.0	
成果指標 ( 2 )	4 件	363	690	315	690	369	690	53.5	
事業費	5 千円	87,955	94,254	90,275	95,009	91,062	98,032	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	12,515	12,515	14,557	12,477	12,557	12,557	
	上記以外の職員	7 千円	3,675	3,675	1,839	1,839	1,904	1,904	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	104,145	110,444	106,671	109,325	105,523	112,493		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	1,369	2,686	2,127	2,706	2,278	2,692	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	1,369	2,686	2,127	2,706	2,278	2,692	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	102,776	107,758	104,544	106,619	103,245	109,801	

# 令和 6年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 5年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 104

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	若者就労支援コーナー (すぎJOB) の運営業務委託			41,822
	就労準備訓練及び社会適応力訓練支援事業 (すぎトレ) 業務委託			27,278
	就職相談・面接会の実施	96	回	3,295
	就労支援センター維持管理			13,985
	その他 (ハローワークコーナー運営ほか)			4,682
取組成果	<p>若者就労支援コーナー新規登録者数は772人 (令和4年度683人)、就労準備相談・心としごとの相談件数は延べ1,714件 (同1,294件)、就職決定件数は176件 (同180件)、ジョブトレーニングコーナー利用登録者数は47人 (同28人)、ハローワークコーナー就職決定件数は369件 (同315件) となりました。就労支援センターにおいて、区内事業者就職相談・面接ブースの無償提供を行い、延べ60人の参加者のうち5人の就職が決まりました。また、就職相談・面接会は96回実施し、延べ336事業所、908人が参加し、189人の就職につながりました。</p>			

## 令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>若者就労支援コーナーでは、新規登録者及び就労準備相談・心としごとの相談件数は令和4年度実績を上回りましたが、就職決定数は令和4年度実績を若干下回ったことから、昨年度に引き続き、広報やホームページ・SNS等の活用による区民への認知度の向上に取り組むとともに、相談者の就職支援策について改善を図る必要があります。</p> <p>ジョブトレーニングコーナーは、利用者がコロナ禍で減少した後、令和4年度までは横ばいで推移していましたが、利用登録者が令和4年度と比べて約1.7倍に増加しました。引き続き、利用促進に力を入れ、利用者の就労支援に取り組んでいきます。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>若者就労支援コーナーでは、ハローワークや福祉部門等の関係機関と連携して、就職から就職後の定着まで相談者に寄り添った伴走型の支援を実施し、令和5年度は176人の就職決定に結び付けました (前年度比4人減)。</p> <p>令和6年度上半期は新規登録者数と就職決定数ともに令和5年度を上回るペースで推移しています。前年度から若者就労支援コーナーで新たに実施した就職相談・面接ブースは、参加事業者の求人条件と参加者が求める職種と雇用形態が合致しないという課題があったことから、令和6年度は参加者の希望に沿った事業者に参加を求めると、より就職につながる内容に改善していきます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>若者就労支援コーナーの新規登録者数及びジョブトレーニングコーナーの利用者数が増加傾向となっていることから、引き続き、利用者アンケートにより、センターを利用するに至った経緯等を調査・分析し、周知方法の改善に活用するとともに、就労への不安や悩みを抱える潜在求職者の利用につなげていきます。</p> <p>昨年度から若者就労支援コーナーで開始した就職相談・面接ブースは、参加事業者の求人条件と参加者が求める職種や雇用形態が合致しないことが課題であったことから、令和6年度は、区役所の会議室を会場にして、参加者の希望に沿った複数の事業者に参加を依頼し、交流と相談会の機会を設ける試みを実施していきます。</p>

## 令和 7年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>就労支援センターでは、人手不足が深刻化している建設・物流・介護職等の事業者への就労支援を充実させていくため、区の求人情報サイトの改修を実施しPRを強化します。また、外国人の就労支援にも力を入れていくため、AI翻訳機の導入を検討していきます。</p> <p>ハローワークや中野区と連携して実施している合同面接会については、建設や物流などの人手不足が深刻な業種に加え、区の特徴でもあるアニメ業界を対象とした企業が参加する合同面接会を新たに実施することを検討し、より多くの求職者を就労に結び付けていきます。</p>	